



三菱<24時間換気機能付>バス乾燥・暖房・換気システム

形名

V-122BZ5 (2部屋用) (100V)

バスカレット24
三菱24時間バス乾燥・暖房・換気システム

据付説明書

販売事業者・据付事業者様用

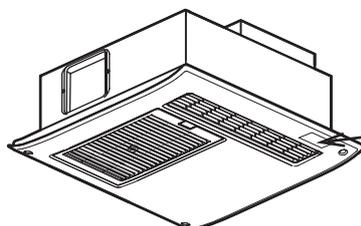
- 本製品は消防法基準適合品です。
- 本製品は住宅用です。業務用途では使用できません。
- この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付が必要です。据付の前に、この説明書を必ずお読みください。電気工事は、販売事業者・据付事業者様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。(お客様自身で設置しないでください。無資格者の電気工事は法律で禁止されています。)

本製品の設置にあたっては、地域により防災上での制限(火災予防条例に基づく指導)がありますので、詳細は行政官庁または所轄の消防署にお問い合わせください。(本製品は(一社)日本電機工業会で定める自主試験基準に適合しております)

もくじ

1.安全のために必ず守ること	2
2.各部のなまえと寸法(外形寸法図)	3~4
付属品	4
3.据付場所の選定	5
4.据付方法(設置全体のながれ)	6~15
1.据付け前の準備	6~9
2.本体の据付け	9~10
3.副吸込ログリルの取付け	10~11
4.電気工事	12~14
5.コントロールスイッチの据付け	15
6.衣類吊り下げ用パイプの取付け	15
5.据付後の確認	16
6.試運転	16~19
1.電気工事の確認	16
2.電源を入れる(ブレーカーを入れる)	16
3.初期設定の変更・確認	17
4.運転の確認	18
5.トイレ(外部)スイッチ操作確認	18
6.不具合対処	19
7.異常表示	裏表紙
8.お客様への説明	裏表紙

形名記載位置



グリルラベル



1.安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

 警告	 注意
誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

 禁止	 水ぬれ禁止	 指示に従い必ず行う
 分解禁止	 アース線を必ず接続せよ	

警告

 禁止	<p>内釜式風呂を据付けた浴室には据付けない 排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因</p> <p>スイッチを経由した電源接続は行わない スイッチの容量不足による感電・火災の原因</p> <p>コントロールスイッチ接続コードを高温になる部分に触れさせない 過熱による火災の原因</p> <p>断熱材は使用しない 火災・故障の原因</p> <p>電源線などの各配線に、以下のことをしない 傷つける／無理に曲げる／無理な力を加える／束ねる／重いものを載せる／挟み込む 感電・火災・故障の原因</p> <p>温泉など腐食しやすいガスが出る場所、異常に高温になる場所などでの設置 火災・感電・故障の原因</p>
---	--

 水ぬれ禁止	<p>製品を水につけたり、水をかけたりしない 充電部への水浸入により、感電やショートの原因</p>
--	--

 分解禁止	<p>改造や工具を必要とする分解はしない 内部部品との接触により、火災・感電・けがの原因</p>
---	---

 指示に従い必ず行う	<p>本体およびグリルはねじを使って確実に固定する 落下によるけがの原因</p> <p>交流100Vを使用する 交流100V以外を使用すると火災や感電の原因</p> <p>本機単独で20Aの専用回路にする(最大消費電力は1230Wです) 火災や感電の原因</p> <p>金属製ダクトがメタルラス張り、ワイヤラス張り、ステンレス板などの金属と電気的に接続しないように据付ける 接続されていると漏電した場合火災の原因</p> <p>電源電線の接続は確実にを行う 不確実な接続は接続部が過熱して発火の原因</p> <p>電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実にを行う 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因</p>
---	--

 アース線を必ず接続せよ	<p>アースを確実に取付け、漏電しゃ断器を設ける 故障や漏電のときに感電の原因</p>
---	--

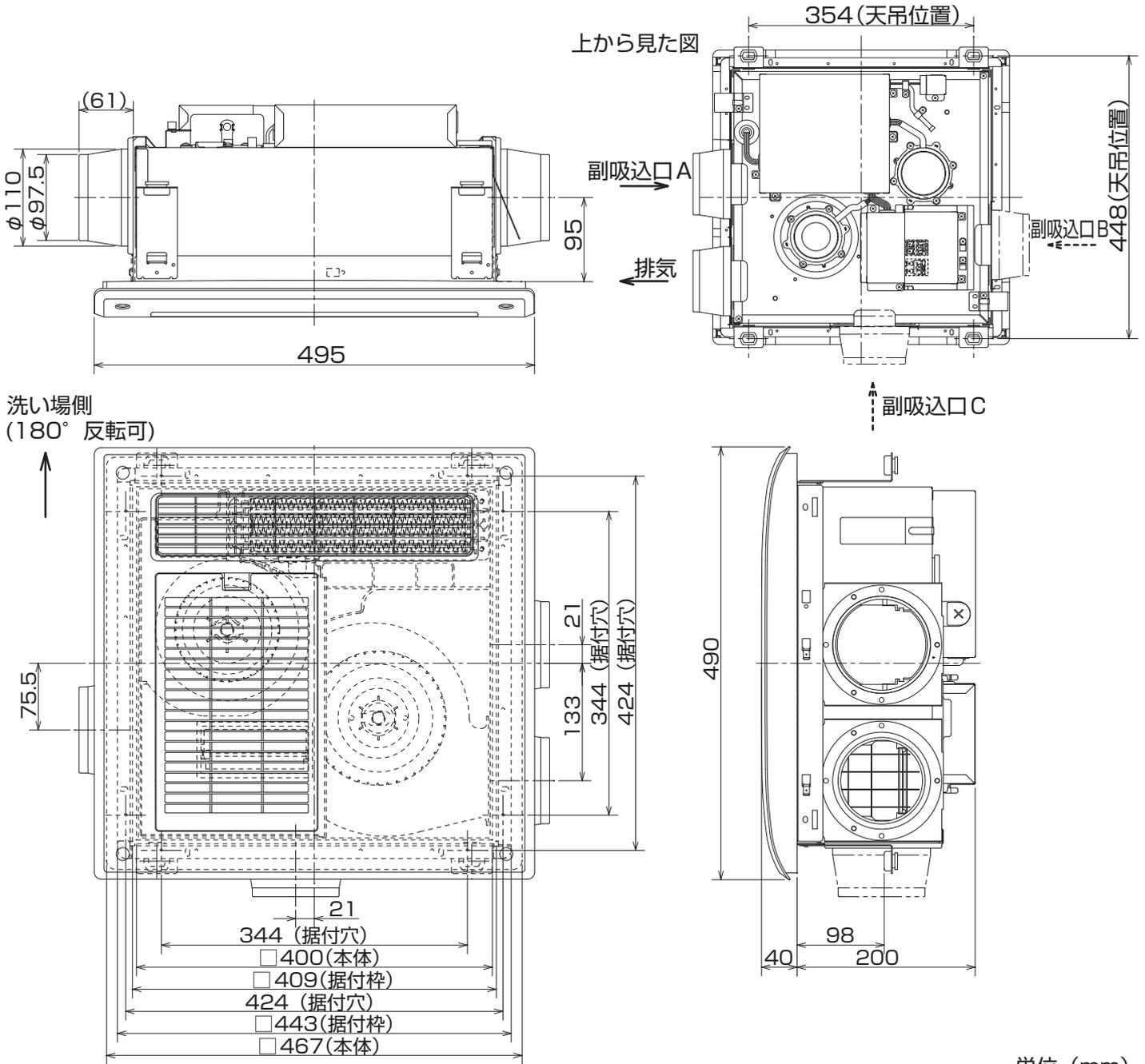
注意

 禁止	<p>浴室内にコントロールスイッチを設けない 充電部への水浸入により、火災・感電・故障の原因</p> <p>コントロールスイッチ接続コードを鋭い角部に触れさせない 被覆のやぶれによる感電の原因</p> <p>強い衝撃を与えたり、落下させない 故障の原因</p>
 指示に従い必ず行う	<p>十分に強度のある所を選んで確実に据付ける 落下によるけがの原因</p> <p>部品の取付けは確実にを行う 落下によるけがの原因</p> <p>据付けの際は手袋を着用する 着用しないと、けがの原因</p> <p>据付けは、販売事業者様、または、専門の据付事業者様が実施する 間違った据付は事故の原因</p> <p>お客様ご自身での据付は事故の原因になります</p> <p>据付部品は、必ず付属部品および指定の部品を使用する 当社指定部品を使用しないと事故の原因</p> <p>トイレ(外部)スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない トイレ(外部)スイッチが焼損する原因</p>

2.各部のなまえと寸法(外形寸法図)

■本体

- 副吸込口はA、B、Cのいずれか1か所を選択

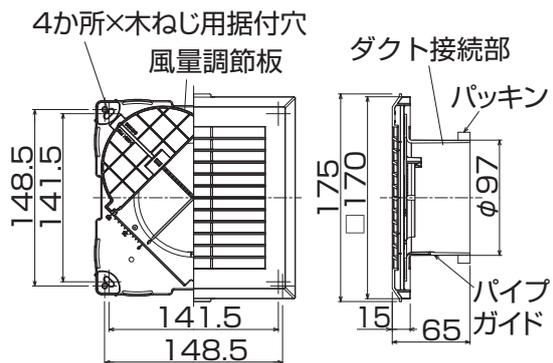


単位 (mm)

■天井開口寸法

- 本体据付け…… □420mm (天吊据付けの場合)
□415mm (野縁据付けの場合)
- 点検口…… □450mm

■副吸込口グリル (同梱品)

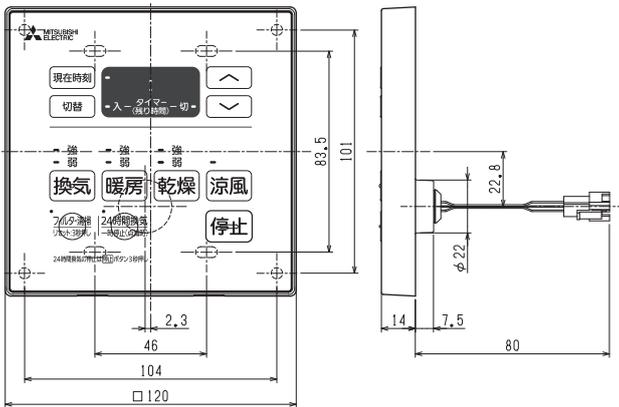


単位 (mm)

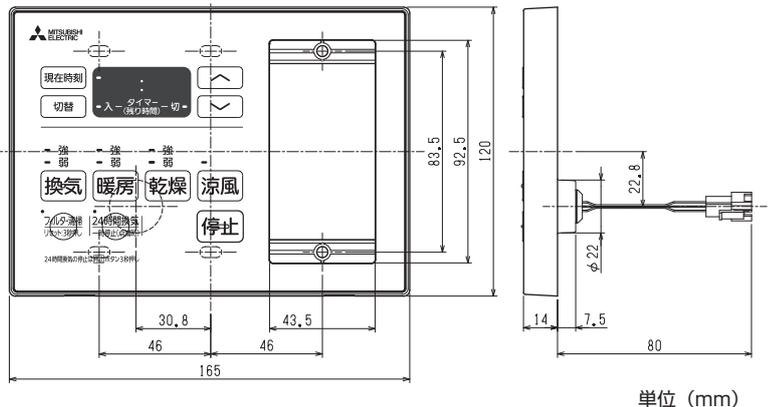
2.各部のなまえと寸法(外形寸法図) つづき

■コントロールスイッチ (別売)

P-123SWL5 (標準タイプ) 単位 (mm)



P-123SWL5-T (照明タイプ) 単位 (mm)



■照明スイッチ (P-123SWL5-Tとの組合せの場合)

照明スイッチは下記のスイッチをご使用ください。

パナソニック製コスモシリーズワイド21

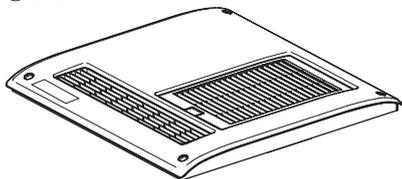
仕様	ハンドル形名	スイッチ形名	取付枠
1個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3031W	WT50519 (片切) WT50529 (3路)	WT3700020
2個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3032W		
3個用スイッチ ほたる付 (AC15A 100V)	WT3033W		

●照明スイッチをご使用にならない場合はブランクチップ (WT6191Wパナソニック製) をご使用ください。

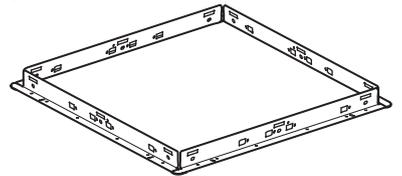
■付属品

No	名称	数量
①	グリル (フィルター付)	1個
②	据付枠	1個
③	天吊金具	4個
④	排気ダクト接続口 (白色シャッター付)	1個
⑤	副吸込側ダクト接続口 (黒色シャッター付)	1個
⑥	副吸込口グリル	1個
⑦	カバープレート	2個
⑧	コントロールスイッチ接続コード (5m)	1本
⑨	4×25ドリルねじ (本体据付用、据付枠固定用)	14本
⑩	4×6トラスタッピンねじ (カバープレート固定用、天吊金具固定用)	8本
⑪	φ4.1×45木ねじ (副吸込口グリル取付用)	4本
⑫	ねじカバー	4個
⑬	取扱説明書	1冊
⑭	据付説明書	1冊

①グリル



②据付枠



③天吊金具



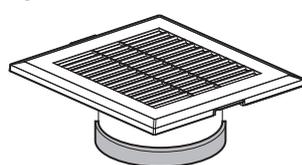
④排気ダクト接続口



⑤副吸込側ダクト接続口



⑥副吸込口グリル



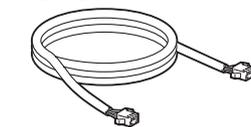
⑦カバープレート



⑨ドリルねじ



⑧コントロールスイッチ接続コード (5m)



⑩トラスタッピンねじ



⑪木ねじ



⑫ねじカバー



3.据付場所の選定

- つねに高温（40℃以上）になるところに据付けしないでください。
高温では、サーモが働きヒーターが通電しません。
- 温泉の浴室やプール等で使用しないでください。
故障の原因となります。
- スチームサウナ付の浴室では使用しないでください。
故障の原因となります。
- 本体を断熱材等で覆わないでください。
- 浴室にはコントロールスイッチを据付けしないでください。
- この製品は浴室の天井据付け専用です。標準適応サイズは1.0坪タイプの浴室です。
ユニットバス以外は浴室温度が十分上昇しないことがあります。
浴室が大きい場合、窓が大きい場合、タイル貼りの浴室、天然石の壁や床、その他断熱が悪い場合、暖房・乾燥効果は減少します。
- 次のようなダクト工事はしないでください。
風量低下やシャッターの震えによる異常音発生の原因になります

- 傾斜した天井には据付けしないでください。
製品故障やモーター寿命が短くなる原因となります。
- 市販の圧力損失の大きな屋外フードは使用しないでください。当社製屋外フード（ステンレス製）のご使用をおすすめします。
風量低下や異常音発生の原因になります
- 排気ダクトは雨水の浸入、結露水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、雨水や鳥などの侵入を防ぐための屋外フード（システム部材）などを取付けてください。
- 本製品で住宅の全般換気を行う場合は居室の扉に通気措置（アンダーカットなど）が必要となります。
- 有機溶剤やスプレーを使う場所には据付けしないでください。
故障の原因となります。

● 極端な曲げ



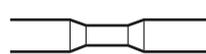
● 多数の曲げ



● 吐出口のすぐそばでの曲げ



● しぼり



● フレキシブルダクトのS字配管

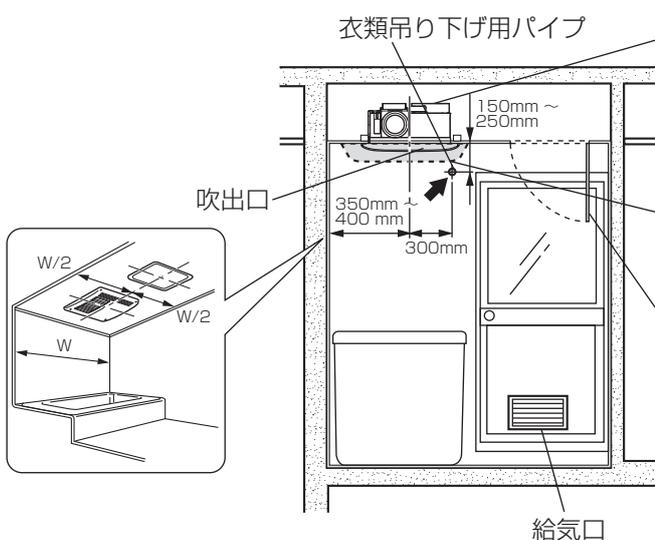


製品の据付けには下記のような規制がありますのであらかじめご確認ください。

地域により防災上での制限（火災予防条例に基づく指導）が異なりますので、所轄の行政官庁または消防署にお問い合わせください。

● 点検を実施できるように据付時には下記点にご注意ください。

- メンテナンス可能な位置に点検口を設けてください。（点検口を設けないと、点検や本体をはずすことができなくなります。）
- 電源配線やその他の配線（コントロールスイッチ等）の接合部分が壁の中にあたり、後日点検できない場所に配置されないようにしてください。
- 製品の据付場所は遮へい物等により点検口から製品が見えない、あるいは製品を点検修理できない場所には据付けないようにしてください。
- 製品の据付部には接着剤や両面テープ等、製品の取りはずしが困難になるようなものは使用しないでください。



排気ダクト

- 不燃材料をご使用ください。
- 専用としてください。ただし、同一の住戸内でトイレ・洗面所などの排気ダクトが不燃材料であれば接続できます。

グリルの周囲

- グリル周囲・下方100mm未満の範囲には造営材等（乾燥させる洗濯物および吊り下げ用パイプを含む）を設けないでください。

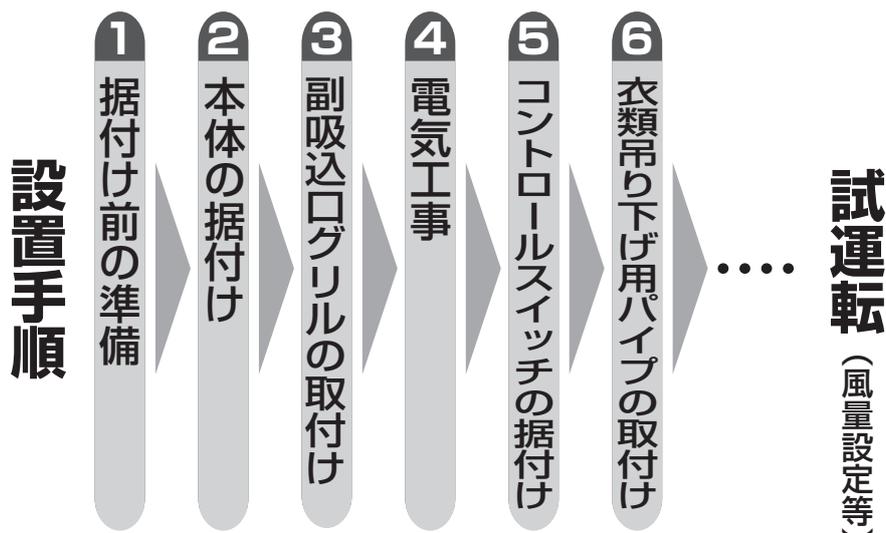
点検口

- 本体の近くに本体の点検ができる点検口を設けてください。点検口を設けないと本体をはずすことができなくなります。

- 本体および衣類吊り下げ用パイプ（市販品）の設置は上図の寸法の位置に取付ける。
- 本体は必ず天井板に浴室から据付けてください。（本体をおろしてメンテナンスできなくなります）
- 電源ケーブル、コントロールスイッチ接続コードは本体がおろせるように約2mの余裕をもたせる。（短いとメンテナンスができなくなります）

- 浴槽の上に据付け、吹出し方向を洗い場に向けてください。（乾燥・暖房効果が減少します）
- 給気口を設ける。
- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと別配線し、10mm以上離して配線してください。（誤動作の原因になります）

4.据付方法

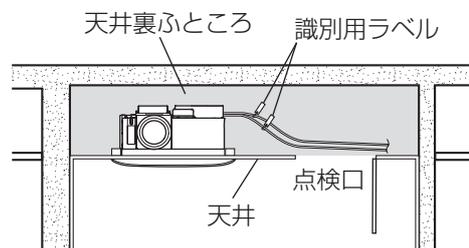


- 本体の据付けは必ず天井板に浴室から固定し、配線は約2m余裕をもって行ってください。本体のメンテナンスができなくなります。
- 本機は、副吸込口を3方向(A・B・C)から選択できます。
- 浴室側と本体の向きを確かめ、正しく安全に据付けてください。
- 電気工事は天井裏ふところが狭くなると、本体据付け後に配線が難しい場合があります。その場合はあらかじめ点検口付近まで配線しておくことをおすすめします。
- 天井のたわみは2mm以下にしてください。天井のたわみが大きいとグリルが密着せず、すき間ができる場合があります。

1 据付け前の準備

お願い

- 天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に据付ける前に行ってください。
- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベルを付けてください。
- 点検口を設けないと本体をはずすことができません。



1.配線をする。

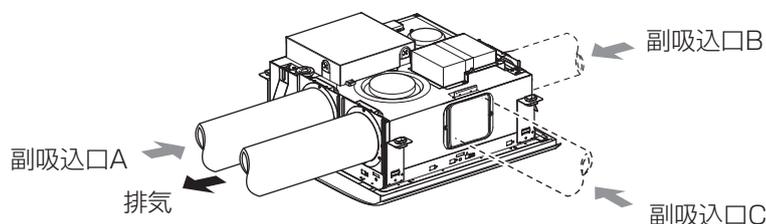
- 3芯のVVVFケーブル(φ2mm)(電源ケーブル、アース線)および付属のコントロールスイッチ接続コード(有効長約5m)を配線してください。
- コントロールスイッチ接続コードの長さがたりない場合には「延長用リモコンコード」(システム部材)をご使用ください。
- 本体据付位置より約2mの余裕をもって配線してください。
- 分岐ブレーカー容量は単独20Aを使用し、浴室乾燥機用とわかるように表示をしてください。
- 漏電しゃ断器を取付けてください。

お願い

- コントロールスイッチ接続コードは照明用の電源コードや本製品の電源ケーブルと10mm以上離して配線してください。(誤動作の原因になります)

2.据付位置・排気方向・副吸込方向を決める。

排気方向の確認



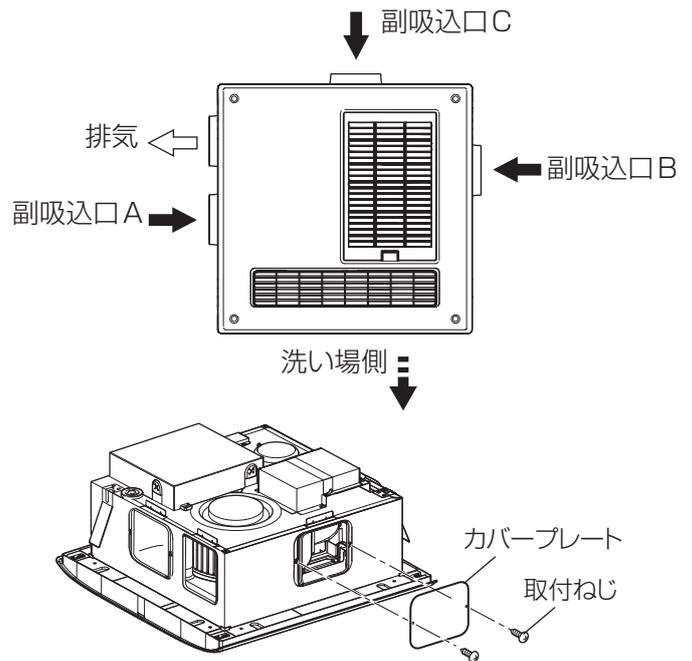
副吸込ダクトの接続口を選択する

- (1) 副吸込側ダクト接続口は副吸込口 (A・B・C) の3方向より1方向のみ選択できます。

お願い

- あらかじめ洗い場側、配管位置、排気方向を確認してください。

- (2) 使用しない副吸込口 (2方向) にカバープレートを取付ける。



排気ダクトの方向と副吸込ダクトの方向を確認し、据付方法を選択して据付枠を天井に据付けてください。

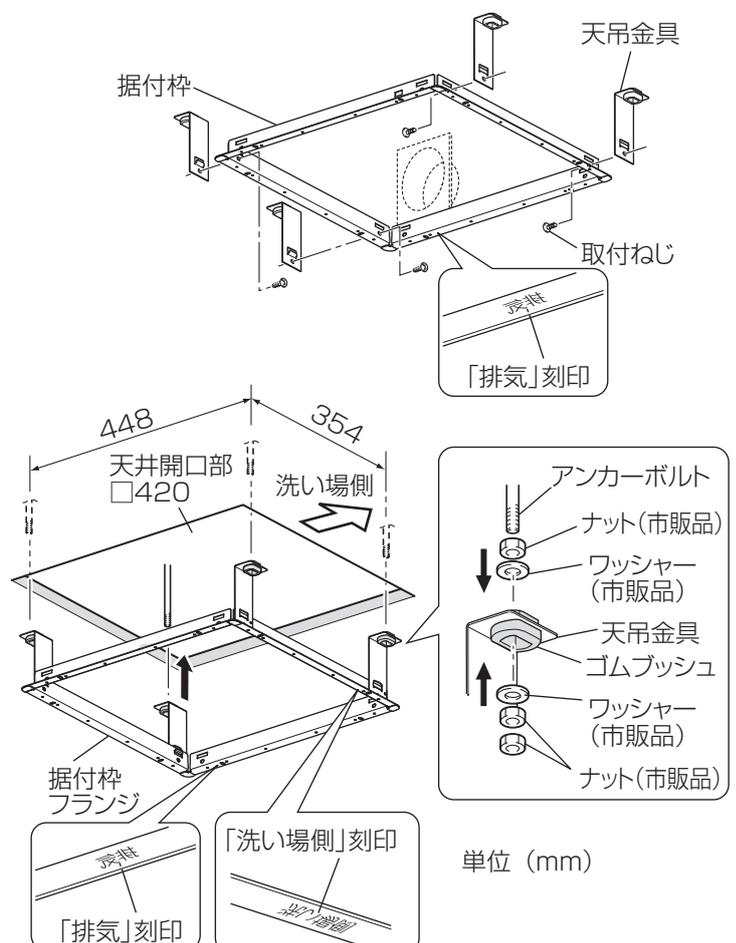
3. 据付枠とダクト接続口を取付ける。

天吊据付けの場合

■ダクト接続方向の確認

接続するダクトの配管方向は、排気方向は1方向、吸込方向は3方向から選択できます。配管の位置を確認して、天吊金具を据付枠に取付けます。

- (1) 右図を参照し、外形寸法図の天吊位置にあらかじめ市販のアンカーボルト (M8またはM10) を埋め込む。
- (2) 浴室の天井板に□420mmの開口部を設ける。
- (3) 天吊金具を右図に従い据付枠に付属の取付ねじ (4×6 トラスタッピンねじ) で固定する。
- (4) 据付枠を浴室から差し込み、天吊金具にアンカーボルトを通し、市販のワッシャー・ナットを使用して吊す。
- (5) 据付枠が天井板に密着するようにアンカーボルトに固定する。



4.据付方法 つづき

お願い

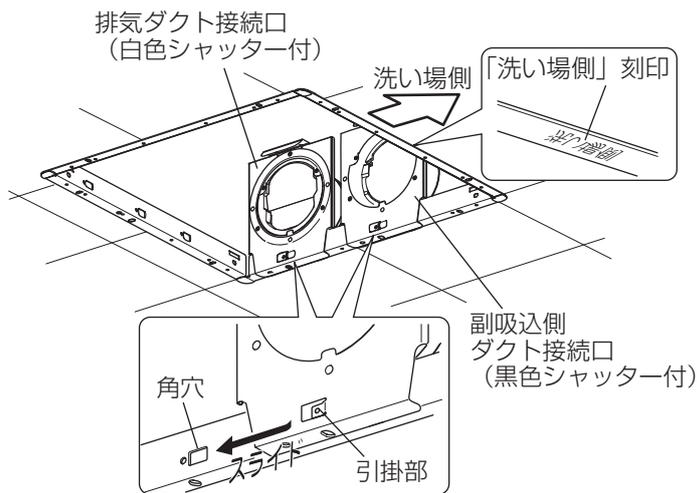
- 天吊金具を固定するナットをしっかりと締め、据付枠のフランジがしっかりと天井面に密着していることを確認してください。密着していない（ガタつく）場合はグリルと天井面のすき間の原因となります。
- すき間が発生した場合は、天井補強の野縁に据付枠を付属のねじ（4×25ドリルねじ 6本）で長穴6か所を固定してください。
- ナットがゆるまないように確実な処置で固定してください。
- 天井が歪まないよう十分補強を行って本体を据付けてください。

- (6) 排気ダクト接続口（白色シャッター付）を据付枠の「排気」刻印部に合わせてはめ込み、排気ダクト接続口の引掛部を据付枠の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。
- (7) 副吸込側ダクト接続口（黒色シャッター付）を据付枠の「副吸込」刻印部に合わせてはめ込み、副吸込側ダクト接続口の引掛部を据付枠のあらかじめ選択した位置の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。

据付枠の向き変更

排気ダクトを右図と180° 反対方向に配管する場合は、据付枠の向きを180° 反転して固定してください。

※据付枠の「洗い場側」刻印部は実際の洗い場と180° 反対方向となります。

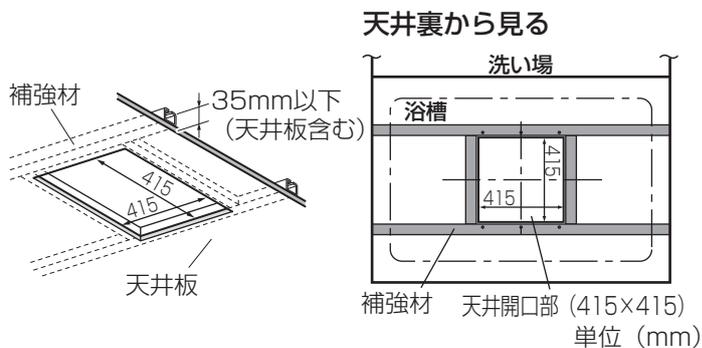


野縁据付けの場合

■ダクト接続方向の確認

接続するダクトの配管方向は、排気方向は1方向、吸込方向は3方向から選択できます。配管の位置を確認してダクト接続口を据付枠に取付けます。

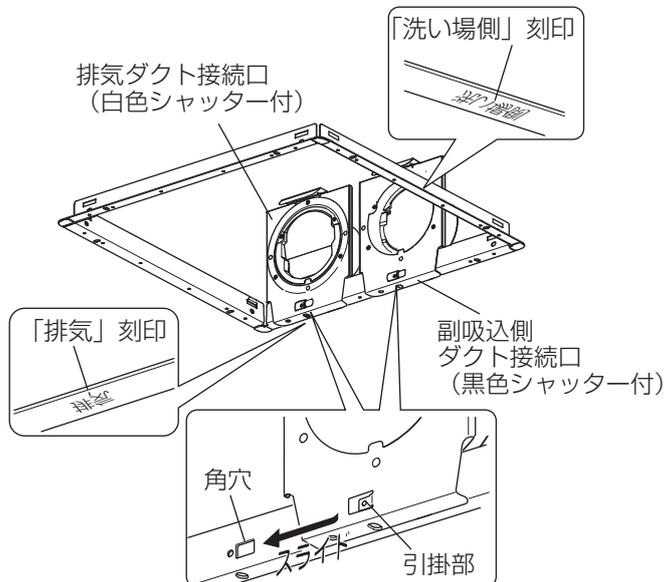
- (1) 浴室の天井板に□415mmの開口部を設ける。
 - 内寸が右図の寸法となるように天井に補強材を設ける。
 - 補強材は天井板を含めて**35mm以下**としてください。（ダクト接続口が取付けられません）
 - 補強材は天井にしっかりと固定してください。



お願い

- このバス乾燥・暖房・換気システムの質量は約10kgあります。本体の設置は十分強度が得られるよう、補強材を使用して確実に行ってください。落下により、けがをするおそれがあります。

- (2) あらかじめ排気ダクト接続口（白色シャッター付）を据付枠の「排気」刻印部に合わせてはめ込み、排気ダクト接続口の引掛部を据付枠の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。
 - 副吸込側Aを選択している場合は、同時に副吸込側ダクト接続口（黒色シャッター付）も固定します。



(3) 図のように据付枠を開口部の矢印方向に寄せて差し込み、他のダクト接続口が取付けられるようすき間をあげ、長穴6か所を使って付属のねじ(4×25ドリルねじ6本)で固定する。

(4) 副吸込側ダクト接続口(黒色シャッター付)を据付枠の「副吸込」刻印部に合わせてはめ込み、副吸込側ダクト接続口の引掛部を据付枠のあらかじめ選択した位置の角穴にスライドさせてしっかり差し込み固定する。

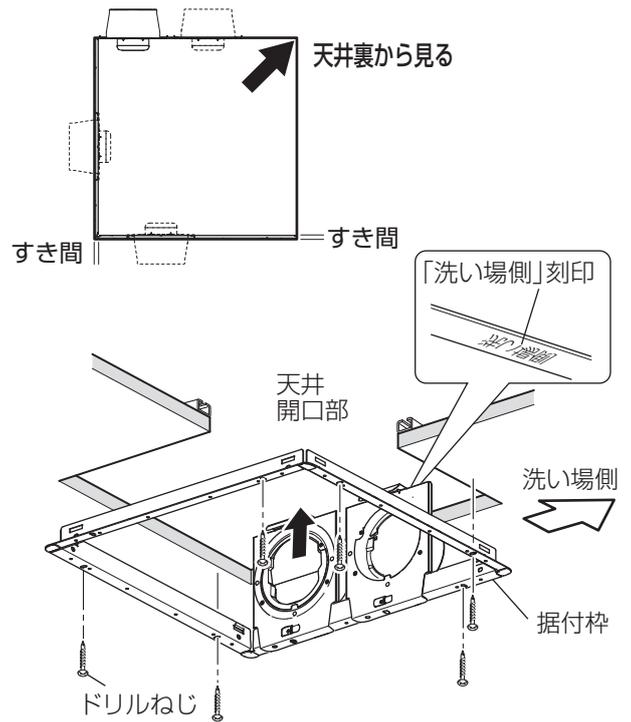
お願い

- すべてのドリルねじが野縁に締め込まれていることを確認してください。
- 排気ダクト接続口(白色シャッター付)と、副吸込側ダクト接続口(黒色シャッター付)が、正しく取付けられているか確認してください。

据付枠の向き変更

排気ダクトを右図と180°反対方向に配管する場合は、据付枠の向きを180°反転して固定してください。

※据付枠の「洗い場側」刻印部は実際の洗い場と180°反対方向となります。



2 本体の据付け

警告

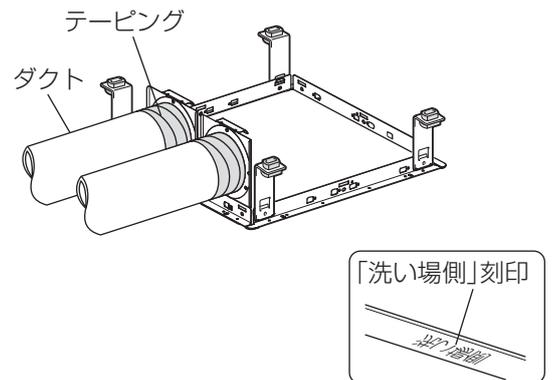
- 本体はねじを使って確実に固定する
落下によりけがの原因

1.ダクト工事を行う。

ダクトをそれぞれのダクト接続口にしっかり差し込んで風漏れのないようアルミテープでテーピングする。

お願い

- ダクトは本体に力が加わらないよう天井から吊してください。
- ダクト接続口とダクトを接続する際に、ダクト接続口にねじ止めする場合は、シャッターの動きを妨げない位置へねじ止めしてください。

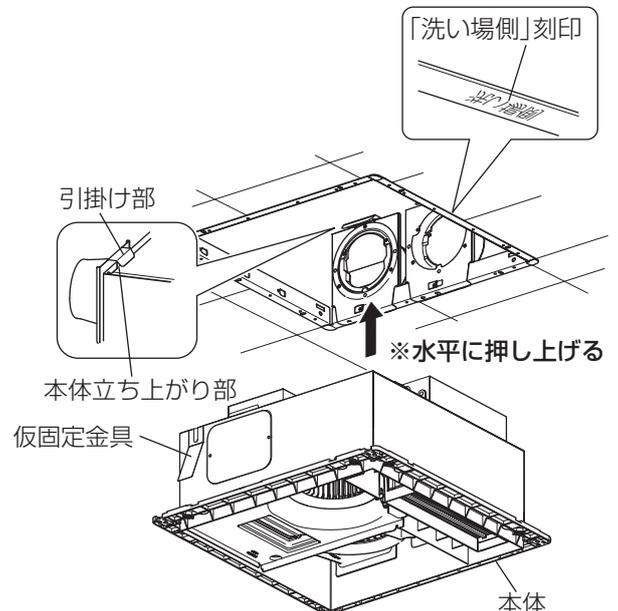


2.本体を据付ける。

本体を開口部にそって差し込み、本体上面の立ち上がり部がダクト接続口の上側の引掛け部にはまり込むように本体を奥まで差し込み、ゆっくり手を離すと仮固定金具によって少し下がった位置で仮固定されます。

お願い

- 据付枠への本体挿入の際は、本体を天井面になるべく水平にして行ってください。
- 引掛け部に本体立ち上がり部が正しくはまっているか確認してください。
- 一度据付けたあとに本体を取りはずす場合は、仮固定金具(2か所)のねじ各1本をはずして仮固定金具をはずしてから本体を取りはずしてください。



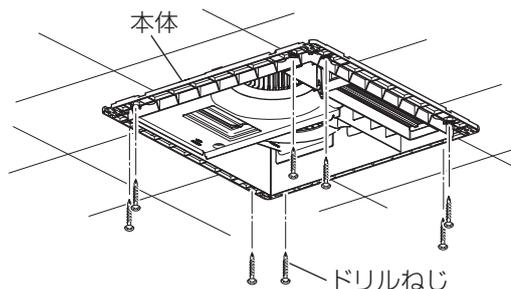
4.据付方法 つづき

3.本体を固定する。

付属の据付ねじ（4×25ドリルねじ 8本）で本体をしっかり固定する。

お願い

- 排気側ダクト接続口および副吸込側ダクト接続口が本体に密着していることを確認してください。



4.本体にグリルを取付ける。

ルーバー方向の変更

ルーバーが洗い場と反対側の場合は、ルーバーの取付方向を変更してください。

※温風が壁に向いていると、暖房・乾燥性能が悪くなります。

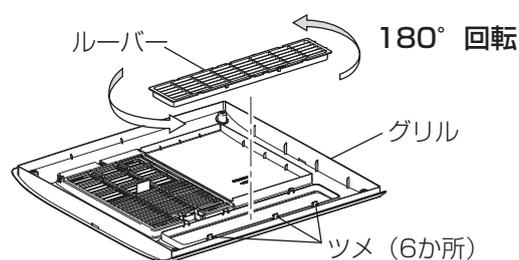
- ルーバーをグリルのツメからはずし、180°回転させて元通りグリルのツメに引掛ける。

本体据付ねじ穴にグリルのねじ部を合わせ、4か所をねじで固定する。（ねじはあらかじめグリルに付いています）

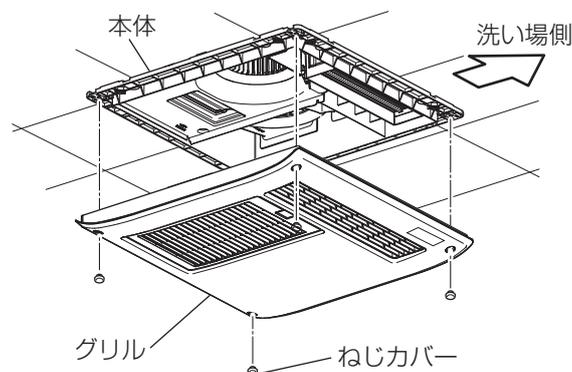
※180度反転据付けの場合、暖房・乾燥性能がおちる場合があります。

お願い

- 工具の先端でグリル表面を傷つけないようにしてください。
- ルーバー方向を変更した場合は、必ず衣類吊り下げ用パイプの取付位置を変更してください。（15ページ参照）
- インパクトドライバーは使用せず、手締めでねじ固定してください。
- ねじの締めすぎによる破損に注意してください。



5.グリルにねじカバー（4か所）を取付ける。



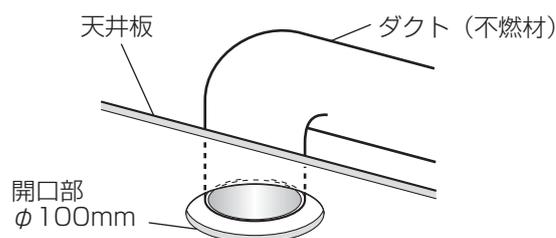
3 副吸込口グリルの取付け

1.ダクト（不燃材）を天井板の吸込口まで配管する。

- ダクトは天井板から出ないようにしてください。

2.天井板を張り、取付位置にφ100mmの開口部を開ける。

- ダクトを天井板に貫通させる場合は、ダクト径に合わせてください。



3.副吸込口グリルの両側の手掛け部を持ってパイプガイドをはずす。

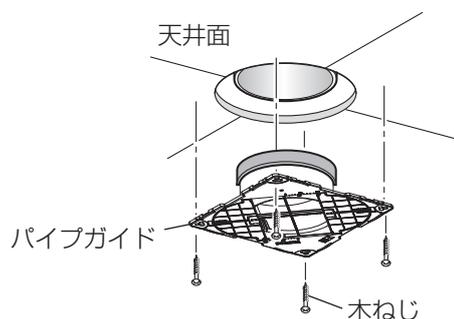
4.パイプガイドをダクトに差し込み、付属の木ねじ（φ3.4×32木ねじ 4本）で天井板に固定する。

- 石こうボードに直取付けを行う場合は、必ず市販の石こうボード用アンカーを使用してください。

お願い

パイプガイドと天井板とのすき間防止のため、次のように取付けてください。

- 石こうボード用アンカーを使用する場合は、必ずパイプガイドのねじ穴からはずれないように確実に取付けてください。
- パイプガイドは必ず天井板との間にすき間がないように確実に取付けてください。

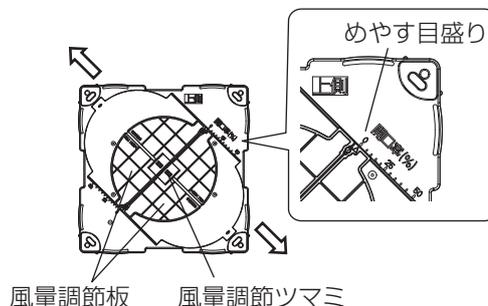


5.必要に応じて風量調節板により開口面積を調整する。（目盛りを目安に開口面積を決めます）

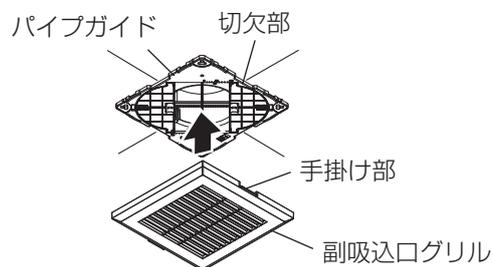
※通常は全開（100%）とします。

お願い

- 本体側の風量設定を確認して副吸込口グリルの風量を調整してください。
- 風量調節板は全閉にはしないでください。



6.副吸込口グリルの手掛け部とパイプガイドの切欠部を合わせてはめ込む。



■本体と副吸込口との換気風量割合

形名	副吸込口 使用位置	風量比 (%)							
		トイレ（外部）スイッチ切				トイレ（外部）スイッチ入			
		浴室	浴室以外			浴室	浴室以外		
		A	B	C		A	B	C	
V-122BZ5	A	約50	約50	—	—	約50	約50	—	—
	B	約62	—	約38	—	約62	—	約38	—
	C	約64	—	—	約36	約64	—	—	約36

※各室風量割合は配管状態により変化します。

4.据付方法 つづき

4 電気工事

警告

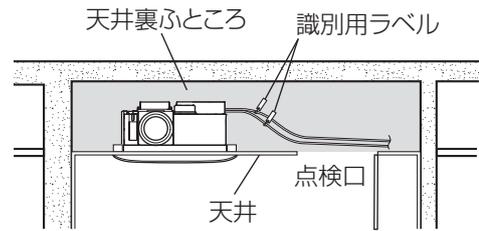
- 交流100Vを使用する
間違った電源を使用すると火災や感電の原因

注意

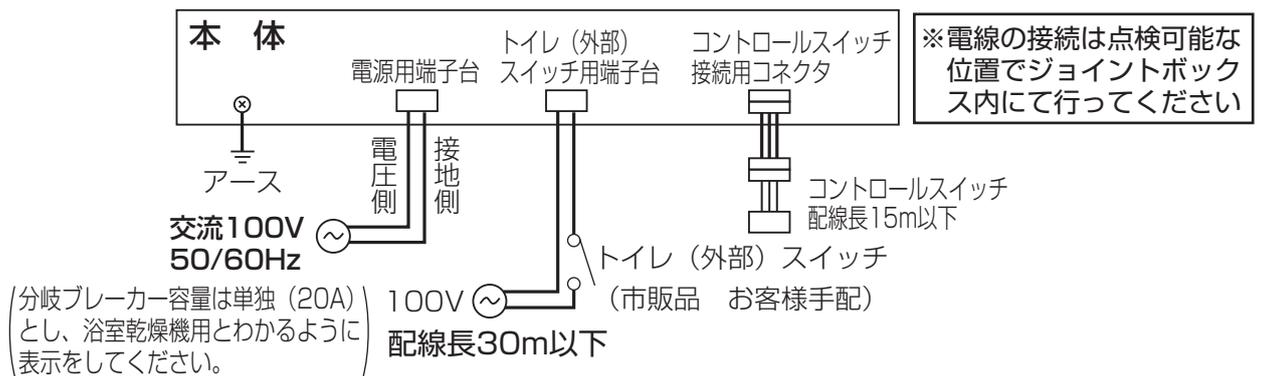
- コントロールスイッチを浴室内に設けない
故障の原因
- 電源電線の接続は確実に
接続部が過熱して発火する原因
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って有資格者が安全・確実に
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因

お願い

- 天井裏ふところが狭く、電気工事が困難な場合、電気工事は製品を天井に据付ける前に行ってください。
- 端子台への誤結線防止のため、各ケーブルの先端部に識別用ラベルを付けてください。
- 壁スイッチを経由した電源接続はしないでください。



■結線図…太線部分は有資格者である電気工事士にて施工してください。コードは約2mの余裕をもって配線してください。



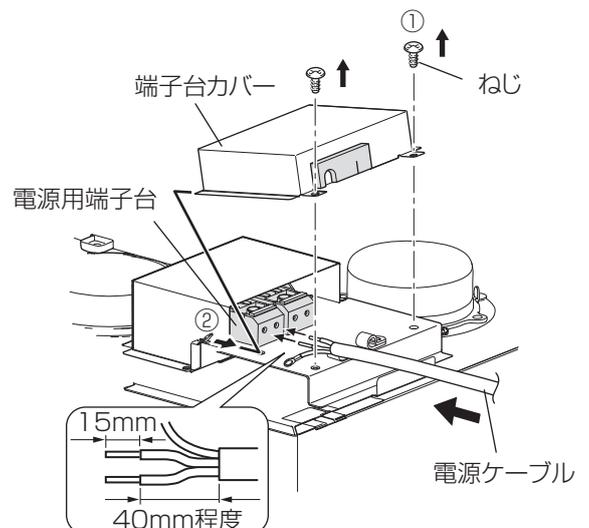
1.端子台カバーを取りはずす。

ねじ2本をはずし(①)、手前に引きながら端子台カバーをはずす。(②)

2.「電源用端子台」へ接続する。

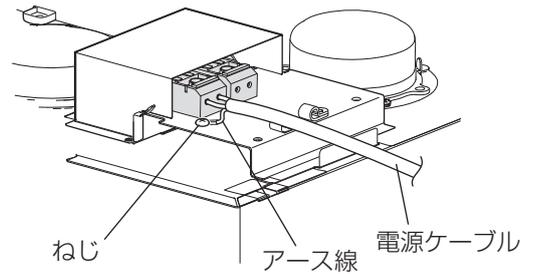
本体の「電源用端子台」に電源ケーブル(VVFケーブルφ2mm)の芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込む。

- ケーブル先端の皮むき寸法は15mmです。
- ケーブル外皮は40mm程度むいておいてください。
- 電源ケーブルを抜く場合は、端子台の白いボタンをマイナスドライバーの先で押しながら電源ケーブルを引いてください。



3.アース工事を行う。

本体のアース端子（ねじ）にアース線を接続して必ずD種接地工事（アース工事）を行う。



トイレ（外部）スイッチを使用する場合

4.必要に応じて、トイレ（外部）スイッチの接続を行う。

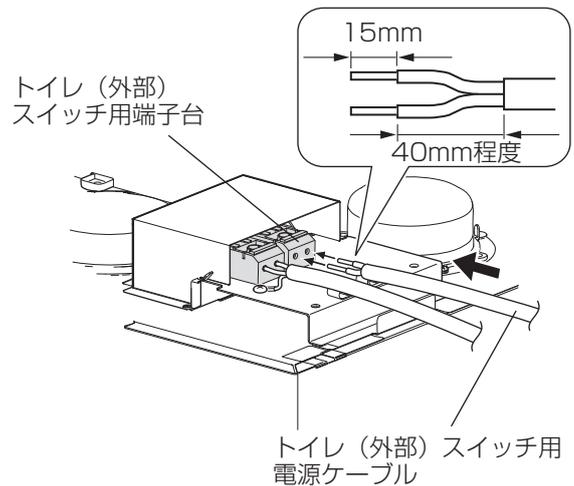
本体の「トイレ（外部）スイッチ用端子台」に100Vの電源を接続用ケーブル（VVFケーブルφ1.6mmまたはφ2mm）の芯線が見えなくなるまで差し込む。

- リード線の皮むき寸法は15mmです。
- ケーブル外皮は40mm程度むいておいてください。

トイレ（外部）スイッチは、本体停止時や運転中にトイレなどから本体換気ファンを運転させたり換気風量を大きくするためのスイッチです。

本体にてトイレ（外部）スイッチの遅延時間設定が可能です。

P17を参照し、設定してください。



■トイレ（外部）スイッチは下記仕様のスイッチを使用してください。

⚠ 注意

- トイレ（外部）スイッチ用電源ケーブルを本体の「電源用端子台」に誤接続しない
トイレ（外部）スイッチが焼損する原因

表示なしスイッチの場合

一般的な片切／3路スイッチ（単相100V～300V）が使用できます。

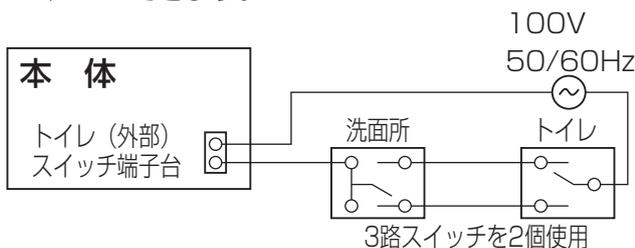
パイロットランプ付（オンピカタイプ）の場合

定格0.5A-100V～0.5A-300V(低負荷用)のスイッチを使用してください。

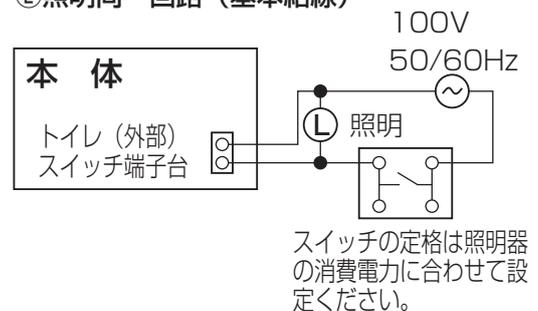
■外部結線例

①2か所ON/OFF（階段スイッチ）

※任意の方向にスイッチを倒すと外部スイッチをON/OFFできます。



②照明同一回路（基本結線）



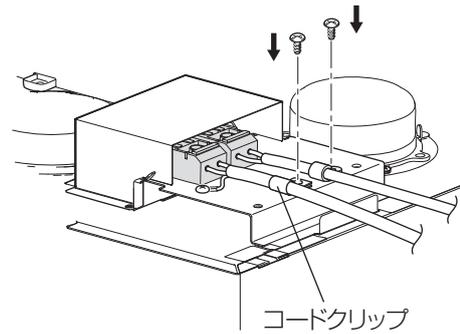
お願い

- 結線を間違えないでください。
(本体が動作しないか、本体基板が故障します)

4.据付方法 つづき

5.ケーブルを固定する。

コードクリップにて図の通りにケーブルを固定する。

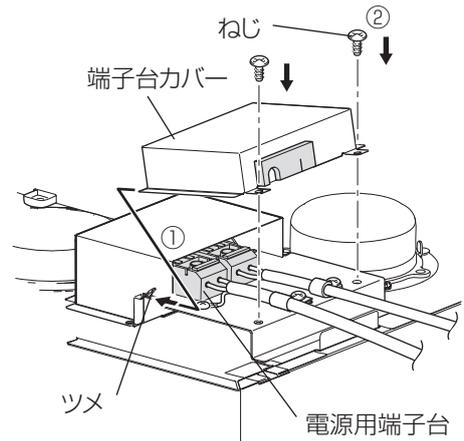


6.端子台カバーを取付ける。

端子台カバーの両側面の引掛部を本体のツメに差し込み (①)、ねじ2本で固定する (②)。

お願い

- ケーブルが端子台カバーに沿うように形を整えてください。
(端子台カバーが固定しやすくなります)
- 端子台カバーでケーブルをはさまないようにしてください。

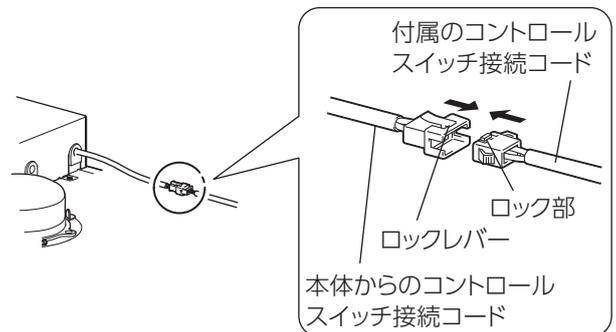


7.本体とコントロールスイッチ接続コードを接続する。

付属のコントロールスイッチ接続コードを本体からのコントロールスイッチ接続コードと接続する。

お願い

- コネクタは本体からのコントロールスイッチ接続コードのコネクタのロックレバーと付属のコントロールスイッチ接続コード側のロック部の向きを合わせ、カチッというまで確実に接続してください。



5 コントロールスイッチの据付け

■据付け前の準備

必ず機種専用のコントロールスイッチP-123SWL5 (-T) (別売)をお使いください。

それ以外のコントロールスイッチを使用すると正常に動作しません。

据付方法はコントロールスイッチに同梱されている据付説明書をご覧ください。

●準備するねじ

スイッチボックスに据付ける場合：M4×皿ねじ（標準タイプ：4本、照明タイプ：6本）

※ねじの長さはスイッチボックスの位置に合う長さのねじを使用してください。

壁に直接据付ける場合：φ3×20木ねじ（4本）（標準タイプのみ）

※ねじの長さは一般的な例です。壁の厚さに応じて選定してください。また壁の材質によりねじが固定できない場合はアンカーを使用するか壁材を補強するなどしてください。

●コントロールスイッチ接続コード（本体同梱部品、有効長約5m）を準備してください。

●コントロールスイッチ接続コードの長さが足りない場合は「延長用リモコンコード」（システム部材）をご使用ください。

●本体側に約2m余裕をもって配線してください。

●コントロールスイッチは、本体の運転確認がしやすい場所に据付けてください。

お願い

●コントロールスイッチ接続コードは、照明用、他の電源コードと別配線とし、10mm以上離してください。

誤動作の原因 になります。

●コントロールスイッチ接続コードは15m以内にしてください。**誤動作の原因** になります。

●結露しやすい壁には据付けしないでください。壁をつたった結露水が内部に浸入するおそれがあります。

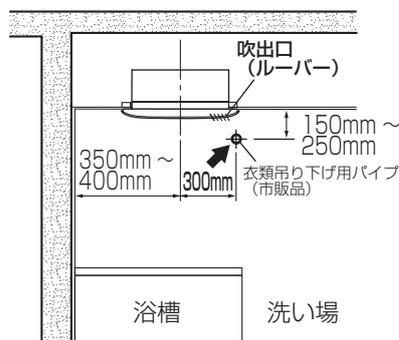
6 衣類吊り下げ用パイプの取付け

右図の位置に市販のパイプを取付ける。

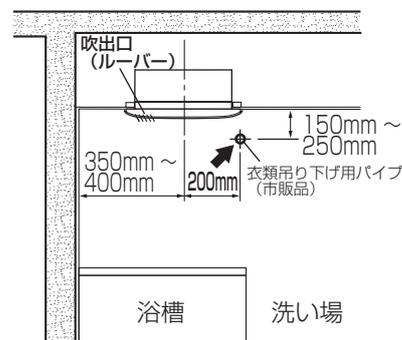
お願い

●パイプを購入されるときは必ず1本当たり4kg以上の荷重に耐える、耐食性および不燃性のものをご購入してください。

●パイプの取付位置は右図を基準として取付けてください。（基準の寸法以外で取付けると乾燥時間が長くなります）



ルーバーが洗い場側の場合



ルーバーが洗い場と反対側の場合

5.据付後の確認

据付が完了しましたら、裏表紙の表に従ってもう一度点検してください。
不具合がありましたら必ず直してください。（機能が発揮できないばかりか、安全性が確保できません。）

6.試運転

試運転手順



試運転終了

試運転前に… 試運転の前にもう一度電源線の接続を十分確認のうえ、分電盤のブレーカーを入れて試運転を行ってください。

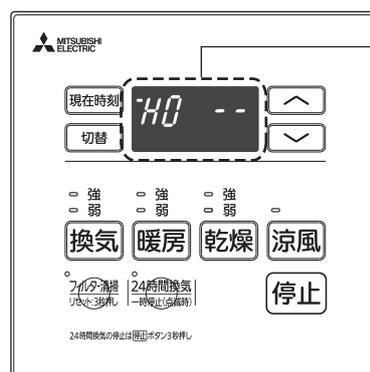
あらかじめ「トイレ（外部）スイッチ」は「切」の状態にしておいてください。

1 電気工事の確認

- 電気工事が終わりましたら、再度結線が間違っていないか確認してください。
- ダクト工事についてもあらためて確認してください。

2 電源を入れる（ブレーカーを入れる）

据付け後初めて電源を入れると、約15秒間タイマー表示部が右図のように点滅します。
※点滅中はどのボタンを押しても反応しません。



3 初期設定の変更・確認

- 設定変更直後にブレーカーをOFFすると設定が反映されない場合があります。設定を変更後、10秒以上経過したことを確認してブレーカーをOFFしてください。
- 24時間換気運転中は **停止** を3秒以上押し、本体を停止させてから行ってください。

手順	1	2	3	4
24時間換気風量の設定	(停止中) 停止 を押しながら 換気 を同時に約3秒間押す	涼風 を押す 表示が切り換わります	へ を押し、設定値を変更します 表示 JO A1 ...設定値 ※工場出荷時：A1 (24時間換気1)	
24時間換気時の暖房切タイマーおよび24時間換気運転の設定	停止 を押しながら 換気 を同時に約3秒間押す	乾燥 を押す 表示が切り換わります	へ を押し、設定値を変更します 表示 J2 A3 ...設定値 ※工場出荷時：A3	
トイレ(外部)スイッチの遅延運転時間設定	(停止中) 停止 を押しながら 乾燥 を同時に約3秒間押す	換気 を押す 表示が切り換わります	へ を押し、設定値を変更します 表示 d3 1 ...設定値 ※工場出荷時：1 (0分)	
お知らせ時間の設定	(停止中) 停止 を押しながら フィルタ清掃 を同時に約3秒間押す	表示が切り換わります	へ を押し、設定値を変更します 表示 F 6 ...設定値 ※工場出荷時：6 (6か月)	
暖房温度の設定	(停止中) 停止 を押しながら 暖房 を同時に約3秒間押す	暖房 を押す 表示が切り換わります	へ を押し、設定値を変更します 表示 h0 A1 ...設定値 ※工場出荷時：A1 (40℃)	

設定時に必ず
設定してください

必要に応じて設定ください

変更した設定値
が5回以上点滅
してから
停止 を押し、
終了します
※次回より変更
された記号が
設定値として
最初に表示され
れます。

※上記以外の表示となった場合は **停止** を押し、はじめからやり直してください。

6. 試運転 つづき

4 運転の確認

取扱説明書に従い「24時間換気」「換気」「暖房」「乾燥」「涼風」が正常に運転するか確認する。
 ※確認後、問題がなければチェックボックスにチェックマーク☑を記入してください。

	操 作	コントロールスイッチ	☑	内 容
24時間換気	1. ボタンを押す	ランプが点灯する	<input type="checkbox"/>	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。 (吸込口には手を入れない)
	2. もう一度 ボタンを押す	ランプが点滅する	<input type="checkbox"/>	換気が停止したことを確認する。
換 気	ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強弱	<input type="checkbox"/>	本体グリルの吸込口から換気していることを確認する。 (吸込口には手を入れない)
暖 房	ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強弱	<input type="checkbox"/>	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。 (吹出口には手を入れない)
乾 燥	ボタンを押す 繰返し押すと機能が切り換わります。	強弱	<input type="checkbox"/>	本体吹出口から温風が出ていることを確認する。 (吹出口には手を入れない)
涼 風	ボタンを押す	涼風	<input type="checkbox"/>	本体吹出口から風が出ていることを確認する。 (吹出口には手を入れない)

※停止後にはじめて換気・暖房・乾燥・涼風運転を行うときは、自動的に24時間換気運転を開始します。
 24時間換気運転以外の運転を確認する場合は、停止ボタンを3秒以上押し、24時間換気運転を停止してください。

5 トイレ（外部）スイッチ操作確認

トイレ（外部）スイッチを押したときの動作を確認する

全停止中にトイレ（外部）スイッチを入れ、副吸込口グリルから換気していることを確認する。

6 不具合対処

次のような症状があれば必ず分電盤のブレーカーを切ってから点検してください。

※ブレーカーを入れ直す処置をする場合は、ブレーカーを切った後 5 秒以上待ってから、ブレーカーを入れ直してください。

症状	原因	処置
運転しない	本体に通電されていますか？	ブレーカー点検をしてください 単独で 20A の容量が必要です
	運転開始時や運転機能の切り換えに約 40 秒間かかる場合があります	故障ではありません
	コントロールスイッチ接続コードが接続されていますか？	接続状態を確認してください。
停止しない	ヒーター停止後約 15 秒間は冷却運転します	故障ではありません
運転開始時や運転機能切り換えに時間がかかる	風路切り換え動作または本体冷却のために約 40 秒間かかる場合があります	故障ではありません
振動がする	グリルが確実に取付けられていますか？	確実に取付けてください
	取付ねじがゆるんでいませんか？	確実に締め付けてください
温風が出ない ヒーターが途中で切れる (冷たい風が出ている)	浴室内の温度が約 40℃を超える場合はヒーターに通電されません	故障ではありません
本体と天井面との間にすき間があいている	据付ねじが緩んでいませんか？	据付ねじを締め付けてください 本体据付ねじ 8 本で固定している場合は、 12 本で固定してください。
運転機能を切り換えたときにカチと音がする	リレー接点の切り換わり音です	故障ではありません
乾燥強運転、弱運転が切り替わらない	乾燥強運転、弱運転の風量変化はありません	故障ではありません
運転機能を切り換えたときにきしみ音がする	運転機能切り換え時の動作音です	故障ではありません
グリルがはずれかけている	グリルの取付ねじに不具合がありませんか？	取付ねじがはずれかけていないか確認し、 確実に取付けてください
換気運転時の音が大きい	配管に S 字曲げ箇所等がある もしくは、屋外フードの圧力損失が大きい	ダクト配管の抵抗が大きい場合があります。 お買い上げの販売事業者、据付業者にご連絡ください。

7.異常表示

●コントロールスイッチのタイマー表示部にこのような表示が出ているときは、表示内容をメモして処置内容をご確認ください。

表示内容	原因・処置	
	制御回路および本体の動作異常です	電源ブレーカーを切って三菱電機修理窓口へご連絡ください
	電源に定格電圧以外が接続されています	電圧を確認してください
	ヒーター回路の異常です	電源ブレーカーを切って三菱電機修理窓口へご連絡ください
	吸込み温度センサーの異常です (はずれ、断線など)	三菱電機修理窓口へご連絡ください
	本体とコントロールスイッチの通信が正常に行われていません	コントロールスイッチ接続コードが正しく接続されているか確認してください

上記以外の表示 → ブレーカーを切って三菱電機修理窓口へご連絡ください

■停電復帰時

停電復帰したときは、コントロールスイッチは約15秒間右図のように点滅します。点滅中は動作しません。



8.お客様への説明

- お客様が不在の場合は、発注者様（オーナー様など）または、管理人様へ説明してください。
- 別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をご説明ください。とくに「安全のために必ず守ること」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようご説明ください。
- この据付説明書は、据付け後にお客様にお渡しください。なお、同梱の取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

■据付後の確認表

内容を再度ご確認ください。問題がなければチェックボックスにチェックマーク☑を記入してください。

	確認項目	☑
製品据付	本体の据付けは緩みなどなく、確実に据付けられていますか？ P.10	<input type="checkbox"/>
	製品の吸込口、吹出口は塞がれていませんか？ P.6	<input type="checkbox"/>
電気工事	電源に漏電ブレーカーは設置されていますか？	<input type="checkbox"/>
	電源電圧は交流 100V ですか？ P.12	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルは結線図通り結線されていますか？ P.12	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルと端子台はゆるみなく接続されていますか？ P.12	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブル先端の皮むき寸法は15mmとし、電源用端子台に芯線が見えなくなるまでしっかりと差し込まれていますか？ P.12	<input type="checkbox"/>
	電源ケーブルはコードクリップで固定しましたか？ P.14	<input type="checkbox"/>
	アース工事（D種接地工事）は行っていますか？ P.13	<input type="checkbox"/>
コントロールスイッチ接続	壁スイッチを経由した電源接続を行っていませんか？（トイレ（外部）スイッチを除く） P.14	<input type="checkbox"/>
	コントロールスイッチ接続コードは正しく接続されていますか？ P.15	<input type="checkbox"/>
その他	コントロールスイッチ接続コードは電源線に束ねられていませんか？ P.15	<input type="checkbox"/>
	吹出口、フィルターの向きは正しいですか？ P.8	<input type="checkbox"/>
	ダクト配管は、急な曲げ、多数の曲げ、吐き出し口のすぐそばでの曲げ、しぼりなどはありませんか？ P.5	<input type="checkbox"/>

三菱電機株式会社

ご依頼窓口

平日 9:00~12:00 13:00~17:00（土・日・祝・弊社休日以外）

三菱電機 換気送風機技術相談センター……電話 0120-726-471（無料）〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1-3

この説明書は、再生紙を使用しています。